

知事から各部長への指示事項

- 県内の感染状況や全国の感染防止対策を踏まえ、各部には次の3点に取り組むようお願いいたします。

<若い世代に対する感染防止対策>

- 変異株の拡大や、高齢者の方々へのワクチン接種が進んだことなどにより、最近では特に若い世代の感染割合が増加し、中等症や重症者に占める割合も若い世代の方々に増えている傾向にあります。
- 全国的にもこうした傾向がありますが、県内でも数字的に確認できましたので、こうした最近の感染状況の特徴を県民の皆さまに周知を図ってください。
- あわせて、若い方々にワクチンの接種に対する理解が進むよう、啓発について取り組んでください。

<第三者認証制度について>

- 県内の最近の感染事例を見ると、「会食」を契機とした感染が増えている印象にあります。先日も高知市内の飲食店で、10人を超えるクラスターが発生しました。「会食」を契機として、家庭や職場にウイルスが持ち込まれるパターンが後を絶たしません。このルートを抑えていくことが大事だと考えています。
- このため、飲食店において感染防止対策を徹底していただくために、「第三者認証制度」の取り組みを進めていく必要があると考えています。
- まずは、県内の飲食店に対して、「第三者認証制度」の趣旨をご理解いただき、多くの店舗にご協力いただけるよう、しっかりと取り組んでください。

<ワクチン接種について>

- 先週の17日（土）から、県営の大規模接種会場を開設し、教職員や警察官の方々などへの「職域接種」がスタートしました。
- 知事部局においても、危機管理部門や健康福祉部門の職員の方々に対象に接種を開始し、私自身も1回目の接種を終えたところです。

- 引き続き、接種希望者の状況なども踏まえながら、必要であれば高知市内限らず、県中央部の市町村の接種を推進するため、機動的に県営接種会場の運用を図ってください。
- また、民間事業者の「職域接種」については、国による承認が保留とされていましたが、お盆明け頃から、徐々に開始される見通しとなりました。国と民間事業者との間を取り持って、それぞれの事業者がスムーズに接種を開始できるよう、きめ細かな支援をお願いします。